2 種類のお取引方法（両建の設定）

外貨NEXTneo 外貨ネクストネオ

外貨ネクストネオは、両建ての「なし」「あり」によって、取引方法が大きく異なります。

■ 取引方法 1　両建 [なし] の設定

※初期設定は、両建 [なし] となっております。

両建の設定が [なし] となっている場合、スピーディーな取引に最適なネッティング方式の取引となり、約定日時の古い順にポジションが決済されます。決済するポジションが存在しない場合は、新規注文として注文が成立します。

[特徴]

1. スピーディーな取引に最適です。
2. 最も約定日時の古い順にポジションが決済されます。
3. 保有しているポジションより多い数量の注文を発注した場合、新規注文として成立します。ポジションは、指定して決済することも可能です。

⚠ 注意

※最も約定日時の古い順にポジションが決済されるため、塩漬けなど決済対象としたくないポジションを保有している場合は十分にご注意ください。

※両建て取引を行なった場合、スプレッドコストを二重に負担すること、およびスワップポイントに逆ザヤが生じる可能性がありますのでご注意ください。

※各取引ツール（リッチアプリ版 /Web ブラウザ版 / スマートフォンアプリ版 /iPad アプリ版 / モバイルアプリ版）は個別に設定が必要です。リッチアプリ版で両建設定を [なし] から [あり] に設定を変更されても、iPad 版の設定は両建設定は [なし] のままとなります。複数の取引ツールをご利用の際はそれぞれの設定を必ずご確認ください。

2 種類のお取引方法（両建の設定）

外貨NEXTneo 外貨ネクストネオ

注文例 ※1Lot＝1千通貨、10Lot＝1万通貨

例 1 保有しているポジションより少ない数量の注文を出す場合

米ドル / 円の買ポジションを 30Lot 保有している状態で、米ドル / 円の売注文を 20Lot 発注すると、保有している 30Lot のうち 20Lot が決済され保有ポジションは 10Lot となります。

1. 米ドル / 円の買ポジションを 30Lot 保有
2. 20Lot の売注文を発注
3. 10Lot の買ポジションが残る

買 買 買 30Lot ー 売 売 20Lot ＝ 買 10Lot

例 2 保有しているポジションと同数量の注文

米ドル / 円の買ポジションを 30Lot 保有していて、米ドル / 円の売注文を 30Lot 発注すると、ポジションの保有ポジションは 0 となります。

1. 米ドル / 円の買ポジションを 30Lot 保有
2. 30Lot の売注文を発注
3. 保有ポジションは「0」となる

買 買 買 30Lot ー 売 売 売 30Lot ＝ 0Lot

例 3 保有しているポジションより多い数量の注文

米ドル / 円の買ポジションを 30Lot 保有していて、米ドル / 円の売注文を 40Lot 発注すると、既に保有している 30Lot は決済注文として決済され、10Lot が新規注文として成立します。その結果、保有ポジションは売ポジション 10Lot となります。

1. 米ドル / 円の買ポジションを 30Lot 保有
2. 40Lot の売注文を発注
3. 保有ポジションは売ポジション 10Lot となる

買 買 買 30Lot ー 売 売 売 売 40Lot ＝ 売 10Lot

2 種類のお取引方法（両建の設定）

外貨NEXTneo 外貨ネクストネオ

■ 取引方法 2　両建 [あり] の設定

両建の設定が [あり] となっている場合、両建てが可能です。なお、必要保証金は、買ポジション、売ポジションで数量の多い方のみが採用されます (Max 方式)。

[特徴]

1. 両建てが可能です。
2. 必要保証金は、買ポジション、売ポジションのうち、数量の多い方のみを採用します。(MAX 方式)

注文例　※1Lot=1千通貨、10Lot=1万通貨

例 1 同通貨ペアの反対売買の注文

米ドル / 円の買ポジションを 30Lot 保有していて、米ドル / 円の売注文を 30Lot 発注すると、買ポジション 30Lot、売ポジション 30Lot を両建てして保有します。

1. 米ドル / 円の買ポジションを 30Lot 保有
2. 30Lot の売注文を発注
3. 買ポジションを 30Lot、売ポジションを 30Lot 保有の両建てとなる